

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (1 3)

団体名	(特非)神戸の冬を支える会	代表者名	(職名) 理事長 (氏名) 森山 一弘
事業名	生活困窮、困難者への緊急支援とその支援ネットワーク構築事業		

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
2024年4月～ 2025年2月 (随時)	姫路事務所	274 (274)	緊急的な支援の必要な方の相談を受け。必要な支援の検討、支援計画の策定及び関係機関との協議の実施
2024年4月～ 2025年2月 (随時)	姫路事務所	75 (75)	住居確保等と同時に緊急支援(食料、布団等)の提供
2024年4月～ 2025年2月 (随時)	姫路事務所他	105 (105)	必要に応じて自宅訪問(見守り、相談のフォローアップ)(関係機関等と連携)緊急
2024年4月～ 2025年2月 (随時)	姫路事務所他	170 (170)	自宅、居所等への訪問、相談活動の実施(関係機関との連携)

< 効果と成果 >

住居を失った方からの相談及び支援の依頼が様々な関係機関及び本人から寄せられ、まず生活基盤を整え、その上で生活再建を図る支援を行った。

その際、住居を確保してもほとんどの方は家財だけでなく所持金の持ち合わせもない状態がほとんどであった。そのため、緊急的支援としてとりあえず寝ることができる環境を整えるため布団の提供及び食料品の提供を行った(ただし他の制度の活用や本人が負担できる場合は提供は行わなかった)。

食料品は、フードバンクはりにまに依頼しての提供及び食料品の提供が関係機関からあったため、当助成金から支出することなく支援が実施できた。布団セット提供 35人、相談人数274人

緊急的支援を通じて支援対象者と関係を築くとともに、その方が抱えている問題の解決に向けた必要なアドバイスや支援、関係機関へのつなぎなども行うことができた。

このような活動を通じて地域の関係機関だけでなく、これまで関りがなかった方々とも顔の見える関係が可能となり、今後の困窮者、困難者支援の環境整備に向けて取り組めるようになった。

< 今後の展望 >

生活上の様々な困難が社会的なものであり、様々な支援を組合わせて社会的に解決していくという視点、そのための支援体制を重層的に築いていくということが重要なので、今後も連携の強化をさらに進めていきたいと考えています。

今回の助成で実施した緊急支援活動を通じて培った地域の支援のネットワークと取り組みの実績を必要な制度の提案や創設につないでいけたらと考えている。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	500,000
自己資金等	153,811
合 計	653,811

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	交通費	26,170	26,170
	人件費	449,073	296,802
	緊急支援費	177,028	177,028
	小 計	652,271	500,000
	間接経費 (一般管理費)	1,540	0
	合 計	653,811	500,000